

クロホシマンジュウダイの須崎湾からの初記録

加藤正洋・石川晃寛・伊佐正樹・町田吉彦

First record of *Scatophagus argus* from Susaki Bay in Kochi Prefecture, southern Japan
(Perciformes: Scatophagidae)

KATO Masahiro, ISHIKAWA Akihiro, ISA Masaki and MACHIDA Yoshihiko

Abstract Three specimens of a scatophagid fish *Scatophagus argus* were collected at the mouth of the Sakura River (33°24'18"N, 133°17'51" E) flowing into Susaki Bay in Kochi Prefecture, southern Japan. The specimens ranged from 13.2mm to 144.4mm in standard length. Susaki Bay represents a new locality for this species in Kochi Prefecture, and a 144.4mm standard length fish is the largest one among the known *S. argus* specimens from middle coast on Tosa Bay.

Key words: *Scatophagus argus*, Scatophagidae, first record, Susaki Bay, Kochi Prefecture, southern Japan.

スズキ目クロホシマンジュウダイ科のクロホシマンジュウダイ *Scatophagus argus* (Linnaeus, 1766) は高知県準絶滅危惧種に指定されている(高知県レッドデータブック [動物編] 編集委員会, 2002)。町田・山川(2005) は高知県内における本種の出現に関する過去の記録をまとめ、県内の四万十川と浦戸湾で得られた標本を報告し、浦戸湾が県内における本種の新産地であることを示した。しかしながら、町田・山川(2005) が言及したように、標本が報告された本種の県内の産地は四万十川と浦戸湾にすぎない。

著者らが所属する研究室では、2004年4月から須崎湾最奥部の魚類相の調査を毎月ほぼ1回実施している。クロホシマンジュウダイは2004年と2005年に確認されなかったが、2006年7月と2007年1月に計3個体の標本が得られた。採集地点は北緯33°24'18"、東経133°17'51"であり、須崎湾

最奥部に流入する桜川と押岡川の合流点の直下の感潮域であるが、桜川の流程が長いことから、桜川河口域とする(Fig. 1)。標本は人力による小型曳き網(袖網4.5m、袋網1.8m、目合0.5mm)により得られた。これらは須崎湾初記録となることから、以下に報告する。

標本の計数ならびに計測方法はNakabo(2002)に従った。なお、標本は高知大学理学部海洋生物学研究室(BSKU)に保管されている。

標本の計数値ならびに計測値をTable 1に示す。2006年7月27日にはほぼ同一サイズの5個体が採集されたが、2個体のみを標本とし、他の3個体はただちに放流した。2006年7月に採集された個体はいずれも幼魚であり、2007年1月に採集された個体(Fig. 2)は亜成魚である。

町田・山川(2005)は2004年8月31日に浦戸湾で標準体長10.9mmの個体を、また、2004年10月11

日に四万十川支流の竹島川で標準体長14.2mmの個体を得ている。本研究で2006年7月に得られた2個体はほぼこれらのサイズに一致する。なお、木下・一藤(2005:図3-I)は四万十川産の標準12.4mmの個体を報告したが、採集年月日は記されていない。2007年1月に須崎湾で採集されたBSKU 89258に匹敵するサイズの個体は、浦戸湾ではこれまでに得られていない。また、7月に須崎湾で標準体長が13~16mmであった個体が5ないし6ヶ月で144mmにまで成長するかどうかは、現

時点では不明である。

本研究により、四万十川から浦戸湾に至る区間における本種の分布の空白が埋められた。したがって、さらなる継続的な調査により、再生産の可能性を含む本種の生息の実態を明らかにすると同時に、本種が高知県準絶滅危惧種に該当するかどうかを検討する必要がある。

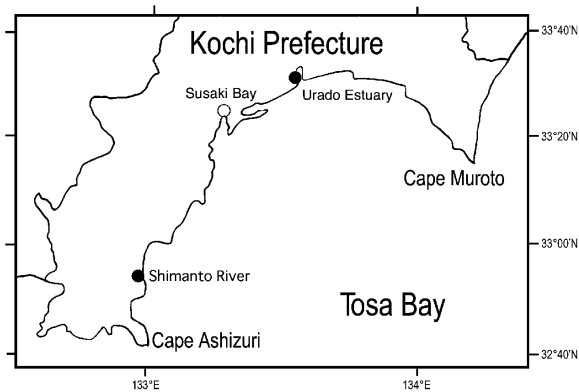


Fig. 1. Localities of *Scatophagus argus* specimens in Kochi Prefecture. ○: present record; ●: previous records (Machida and Yamakawa, 2005).



Fig. 2. *Scatophagus argus*, BSKU 89258, 144.4mm standard length, from Susaki Bay.

Table 1. Counts and propotional measurements of *Scatophagus argus* from Susaki Bay

Catalog number	BSKU 89256	BSKU 89257	BSKU 89258
Measurements			
Total length (mm)	20.2	16.8	170.8
Standard length (mm)	15.9	13.2	144.4
In % of standard length			
Body depth	62	62	58
Body width	20	21	17
Head length	42	43	29
Pectoral fin length	15	17	17
Pelvic fin length	16	14	23
Caudal peduncle depth	15	17	15
In % of head length			
Snout length	32	28	35
Orbit diameter	33	39	22
Upper jaw length	23	26	28
Length of 1st dorsal spine	11	16	20
Length of 2nd dorsal spine	15	18	34
Length of 3rd dorsal spine	39	33	55
Length of 4th dorsal spine	47	40	68
Length of 1st anal spine	24	19	31
Length of 2nd anal spine	27	23	38
Length of 3rd anal spine	17	18	36
Length of 4th anal spine	18	21	26
Counts			
Dorsal fin rays	XI, 16	XI, 16	XI, 16
Anal fin rays	IV, 15	IV, 15	IV, 15
Pectoral fin rays	17	17	17

引用文献

- 木下 泉・一藤貞男．2005．四万十川の伝統漁法と生態系との関係．海洋と生物，27(1)：47-54．
- 高知県レッドデータブック〔動物編〕編集委員会（編）．2002．高知県レッドデータブック〔動物編〕．高知県文化環境部環境保全課，高知，470pp．
- 町田吉彦・山川 武．2005．浦戸湾初記録を含む高知県産クロホシマンジュウダイの標本（スズキ目：クロホシマンジュウダイ科）．四国自然史科学研究，(2)：58-62．
- （原稿受理 2007年3月31日）